

ATHENA LIBRARY OF AMERICAN STUDIES

【アメリカ研究基本文献シリーズ】

Part 8, Vols 29–32: Women's History, Second Series

ISBN 978-4-902708-94-3 C3322 ・ 全4巻セット定価 (本体70,000円+税)

定評ある *Notable American Women, 1607–1950* (Harvard UP, 1971) にその価値を認められた2つの最も重要なアメリカ女性人名辞典を復刻

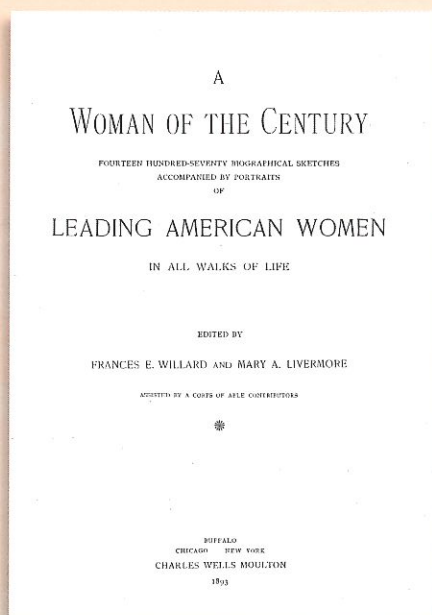
Harvard UP から1971年に刊行された *Notable American Women, 1607–1950 (NAL)* は、現在用いられるアメリカ女性人名辞典のなかで最も信頼を得ているものですが、その序文に今回復刻する2点が言及されています。つまり、それぞれ、*A Woman of the Century* は19世紀の、*Woman's Who's Who* は参政権運動と進歩主義の時代の女性を取り上げた、過去最も重要な女性人名辞典、と高い評価を与えています。

これら2点には、現代的な内容のNALからは削除された、しかし当時としては貴重な項目が多数あって、NALとともに互いに補完しあう内容を有しています。したがって、アメリカ近現代史を見通すときに、定評あるNALに、このAthena Library of American Studies, Part 8を加えることでアメリカ女性史の人物レファレンス基本資料集が形成されることになります。

Volumes 29 & 30: Frances E. Willard and Mary A. Livermore (eds.) *A Woman of the Century: Fourteen Hundred-Seventy Biographical Sketches Accompanied by Portraits of Leading American Women in All Walks of Life* (1893)

ISBN 978-4-902708-95-0 C3322 ・ 816 pp., ill.
全2巻セット定価 (本体34,000円+税)

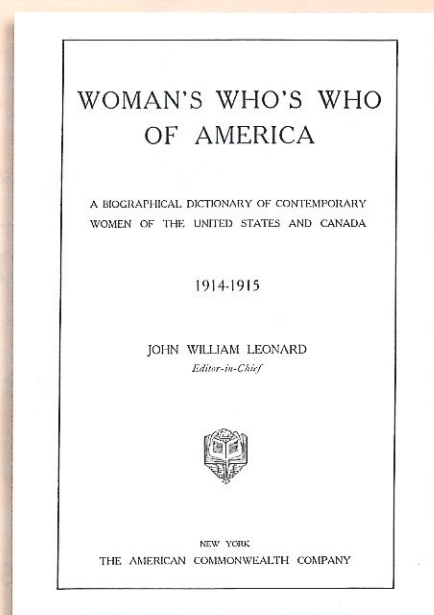
19世紀後半のアメリカ人女性およそ1500名を、丁寧な説明文で紹介する写真入り女性人物評伝。女性参政権などの活動で有名な Frances Willard と Mary Livermore が編集。 *Notable American Women, 1607–1950* をはじめとする現代の定評あるレファレンス類から漏れている項目がかなりあり、今となっては大変貴重な情報源。採録された女性ほとんどの当時の写真が載っている点でも価値が高い。文章量が最も充実した初版を使用。



Volumes 31 & 32: John William Leonard (ed.) *Woman's Who's Who of America: A Biographical Dictionary of Contemporary Women of the United States and Canada, 1914–1915* (1914)

ISBN 978-4-902708-96-7 C3322 ・ 952 pp.
全2巻セット定価 (本体36,000円+税)

20世紀初頭に活躍したアメリカ、カナダの女性を簡潔な記述方法で紹介する女性人名辞典。約10,000名という充実した収録数。当時の *Who's Who* シリーズの編集者 John William Leonard が、女性の情報が圧倒的に不足していた欠陥を補うために、特別に集められたオリジナルデータを基にして2年がかりで製作、社会的地位を確保した女性が増加してきた状況を反映した内容になっている。女性参政権の是非を問うアンケートの回答が個別に示されている点も見逃すことができない。



意義の大きいアメリカ女性人名辞典の復刻

有賀 夏紀 埼玉大学教授

アメリカ女性史・アメリカ史研究の上で、価値ある2点の女性人名辞典が復刻されることになった。1971年、3巻本の女性人名辞典Edward T. James, Janet Wilson James, and Paul S. Boyer, eds., *Notable American Women, 1607-1950: A Biographical Dictionary*が出版され、70年代以降の女性史研究興隆の皮切りになった。その後第4巻(1951-75)、第5巻(1976-1999)も出版され、この女性人名辞典はアメリカ女性史・アメリカ史研究に大きな影響を与え、女性、少なくとも指導的地位にあった女性に関する最も信頼できる情報源として、また便利な参考図書として広く使われてきた。本シリーズのPart 8はこの*Notable American Women*の序文でも言及されている2点の復刻であり、これら2点は人名辞典としても重要であるが、史料としても大きな価値があるといえる。

まず、人名辞典としての価値について述べると、第29、30巻のFrances E. Willard and Mary A. Livermore, eds., *A Woman of the Century*は、19世紀において指導的地位にあったアメリカ女性1470名の伝記を多くの肖像写真入りで掲載し、第31、32巻のJohn William Leonard, ed., *Woman's Who's Who of*

*America*は20世紀初め革新主義時代に活躍した約10,000名の女性の記事を載せていることが注目される。これらの辞典では、上の*Notable American Women*では取り上げられていない女性も多く登場



FRANCES ELIZABETH WILLARD

し、3つの辞典を合わせて使うと、19世紀から20世紀における指導的アメリカ女性のほぼ全容がつかめるだろう。2つの辞典が、復刻版の出版により利用しやすくなったことは、アメリカ史、女性史のより充実した内容の情報を得る上でありがたいことである。

これらの辞典は以上のような人名辞典そのものとしての価値のほかに、史料価値がある。読者はまず、*A Woman of the Century*の編者がFrances Willardとなっていることに興味を抱くであろう。Willardは、キリスト教婦人矯風会(Women's Christian Temperance Union, WCTU)の会長であり、女性参政権運動家であった。Willardは、この本の序で、著名な女性だけでなく、様々な分野の女性の活動を示すユニークな書物であることを記し、「19世紀は女性の世紀である」と述べている。辞典が当時のフェミニストの証言となっているとも言えるだろう。そして*Woman's Who's Who of America*は、参政権運動研究の貴重な史料である。編者のLeonardは辞典に掲載されることになっている女性たちから参政権支持か否かのアンケートをとり、その意見を記している。しかも、回答者の集計も報告しているのである。女性参政権支持 4787、反対 773、無回答および中立4084と。

以上のように、Part 8の2点は、人名辞典としての価値はいうまでもないが、史料価値の高い貴重な文献でもあり、今回の復刻の意義は大きい。



MARY ASHTON RICE LIVERMORE

●【アメリカ研究基本文献シリーズ】Parts 1～7 好評既刊! 詳しくはカタログをご請求下さい。

【発行】

Athena Press
株式会社 アティーナ・プレス



〒112-0011 東京都文京区千石4-33-18

Tel: 03(3946)2117 Fax: 03(5977)8026

E-mail: eigyo@athena-press.co.jp

http://www.athena-press.co.jp

【取扱書店】